



## RSA Security Analytics

ハード ディスク ドライブ交換  
ガイド

## Trademarks

RSA, the RSA Logo and EMC are either registered trademarks or trademarks of EMC Corporation in the United States and/or other countries. All other trademarks used herein are the property of their respective owners. For a list of EMC trademarks, go to [www.emc.com/legal/emc-corporation-trademarks.htm](http://www.emc.com/legal/emc-corporation-trademarks.htm).

## License Agreement

This software and the associated documentation are proprietary and confidential to EMC, are furnished under license, and may be used and copied only in accordance with the terms of such license and with the inclusion of the copyright notice below. This software and the documentation, and any copies thereof, may not be provided or otherwise made available to any other person.

No title to or ownership of the software or documentation or any intellectual property rights thereto is hereby transferred. Any unauthorized use or reproduction of this software and the documentation may be subject to civil and/or criminal liability. This software is subject to change without notice and should not be construed as a commitment by EMC.

## Third-Party Licenses

This product may include software developed by parties other than RSA. The text of the license agreements applicable to third-party software in this product may be viewed in the [thirdpartylicenses.pdf](#) file.

## Note on Encryption Technologies

This product may contain encryption technology. Many countries prohibit or restrict the use, import, or export of encryption technologies, and current use, import, and export regulations should be followed when using, importing or exporting this product.

## Distribution

Use, copying, and distribution of any EMC software described in this publication requires an applicable software license. EMC believes the information in this publication is accurate as of its publication date. The information is subject to change without notice.

THE INFORMATION IN THIS PUBLICATION IS PROVIDED "AS IS." EMC CORPORATION MAKES NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES OF ANY KIND WITH RESPECT TO THE INFORMATION IN THIS PUBLICATION, AND SPECIFICALLY DISCLAIMS IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

---

# ハードディスクドライブ交換ガイド

- [ハードディスクドライブ交換ガイド](#) 4
- [ハードディスクドライブの交換](#) 5



# ハード ディスク ドライブ 交換ガイド

このドキュメントには、ホット スペアありまたはホット スペアなしでハード ディスク ドライブ (HDD) を交換する手順が記載されています。このドキュメントは、ハードウェアの手順を説明する目的で記載されています。Security Analyticsソフトウェアの特定のリリースに依存するものではありません。Security Analyticsのオンライン ドキュメントは[sadocs.emc.com/ja-jp](http://sadocs.emc.com/ja-jp)で入手できます。

**Note:** 印刷したガイドを参照している場合は、[sadocs.emc.com/ja-jp](http://sadocs.emc.com/ja-jp)に新しいバージョンが公開されている場合がありますのでご注意ください。このガイドは、Security Analyticsオンライン ヘルプのハードウェア構成ガイドから参照可能です。



## ハードディスクドライブの交換

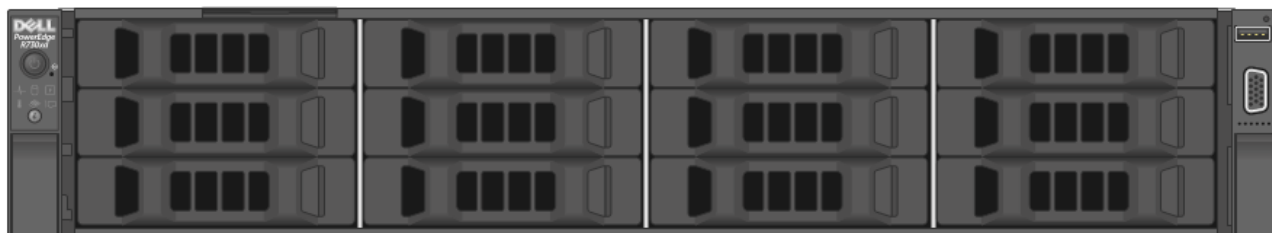
このトピックでは、Security Analytics Series 4またはSeries 5アプライアンスおよびDACストレージにおけるホットスワップありまたはホットスワップなしのHDD（ハードディスクドライブ）交換手順について説明します。

### Series 5アプライアンスの前面



**Note:** Series 4アプライアンスの前面も同様です。

### Series 5 Hybridアプライアンスの前面



**Note:** ハイブリッドアプライアンスの場合も手順は同様です。

## 手順

### ディスクの現在の役割を確認します。

ディスクが、仮想ディスクの一部か、ホットスペアか、未構成/失敗かを確認します。

nwr RAIDutil.plを使用して、論理ディスク情報を確認します。

**Note:** 交換するディスクが論理ディスク情報で(O)と表示される場合、これは仮想ディスクセットの一部です。

### ホットスペアとして構成されたディスクを交換する

交換するディスクが物理ディスク情報でGEIまたはID-<n> (情報データ交換)と表示される場合(たとえば、ID-0)、ディスクはホットスペアです。ディスクがホットスペアの場合、オフラインが自動化されるため、手動でオフラインにする必要がありません。

ホットスペアとして構成されているディスクを交換するには、次の手順を実行します。

1. 取り外しの準備をします。

```
/opt/MegaRAID/MegaCli/MegaCli64-PdPrpRmv-physdrv[ENCLOSURE:SLOT] -a1
```

**Note:** ドライブが仮想ディスクの一部であった場合、ホットスペアに引き継がれて再構築が完了するのを待ちます。nwr RAIDutil.plでアダプタステータスを見て、[virtual disk's degraded]が0に戻ったことを確認します。

2. ドライブを特定します。

a. ドライブのLEDの点滅を開始して、物理ドライブを特定します。

```
/opt/MegaRAID/MegaCli/MegaCli64-PdLocate-start-physdrv[ENCLOSURE:SLOT] -a1
```

b. 物理ドライブが見つかったら、ドライブのLEDの点滅を停止します。

```
/opt/MegaRAID/MegaCli/MegaCli64-PdLocate-stop-physdrv[ENCLOSURE:SLOT] -a1
```

3. ドライブを物理的に交換します。

4. アレイと行を取得します。

```
/opt/MegaRAID/MegaCli/MegaCli64 -PdGetMissing -a1
```

前述のコマンドで不足しているディスクが表示されない場合は、ホットスペアを設定する必要があります。

```
MegaCli]# ./MegaCli64 pdhsp set dedicated array0,1 physdrv[ENCLOSURE:SLOT] a1
```

**Note:** 前述のコマンドは例です。コマンドに`array0,1`が必ずしも含まれるわけではありません。これは個々の構成に依存する変数です。アレイは構成に応じて変わります。アレイの例で使用された0および1はデフォルトではありません。数値は、使用しているDACとアプライアンスによって異なります。

## ホット スペアとして構成されていないディスクを交換する

交換するディスクが物理情報で`U -- Unconfigured`、`X - Offline`、`! -Failed`と表示される場合、現在は仮想ディスクまたはホット スペアの一部ではありません。

ホット スペアとして構成されていないディスクを交換するには、次の手順を実行します。

1. ディスクをオフラインにします。  
`/opt/MegaRAID/MegaCli/MegaCli64-PDOffline-PhysDrv[ENCLOSURE:SLOT] -a1`
2. 取り外しの準備をします。  
`/opt/MegaRAID/MegaCli/MegaCli64-PdPrpRmv-physdrv[ENCLOSURE:SLOT] -a1`

**Note:** ドライブが仮想ディスクの一部であった場合、ホット スペアに引き継がれて再構築が完了するのを待ちます。nwradutil.plでアダプタ ステータスを見て、`[virtual disk's degraded]`が0に戻ったことを確認します。

3. 再構築の進行状況を表示します。

```
/opt/MegaRAID/MegaCli/MegaCli64-PDRbld-ShowProg-PhysDrv[ENCLOSURE:SLOT] a1
```

**Note:** 交換したディスクがホット スペアの場合は該当しません。

4. ドライブを特定します。  
 ドライブのLEDの点滅を開始して、物理ドライブを特定します。  
`/opt/MegaRAID/MegaCli/MegaCli64-PdLocate-start-physdrv[ENCLOSURE:SLOT] -a1`  
  
 物理ドライブが見つかったら、ドライブのLEDの点滅を停止します。  
`/opt/MegaRAID/MegaCli/MegaCli64-PdLocate-stop-physdrv[ENCLOSURE:SLOT] -a1`
5. ドライブを物理的に交換します。
6. アレイと行を取得します。  
`/opt/MegaRAID/MegaCli/MegaCli64 -PdGetMissing -a1`
7. 欠落したドライブを交換します。  
`/opt/MegaRAID/MegaCli/MegaCli64 -PdReplaceMissing -PhysDrv[ENCLOSURE:SLOT] -Array<N> -row<N> -a1`
8. 再構築の進行状況を表示します。

**Note:** 交換したディスクがホット スペアの場合は該当しません。

```
/opt/MegaRAID/MegaCli/MegaCli64 -PDRbld -ShowProg -PhysDrv[ENCLOSURE:SLOT] -a1
```

**Note:** ディスクが以前はホット スペアだった場合 (またはエンクロージャ内にホット スペアが現在いない場合) は、ホット スペアを構成する必要があります。

ディスクがS4/S4S/SAアプライアンスの最初のDACから来ている場合、エンクロージャ アフィニティがあるグローバル ホット スペアとして設定します。

```
/opt/MegaRAID/MegaCli/MegaCli64 pdhsp set EnclAffinity physdrv[ENCLOSURE:SLOT] -a1
```

最初のDACより後のエンクロージャから来たディスクの場合、ホット スペアを専用の仮想ディスクとして構成することが勧められています。

**Note:** 仮想ディスクの最大2つの再構築 ( RAID5ボリュームの再構築 ) が完了するにはかなりの時間がかかる場合があります。